

温かいメッセージを伝え合おう

ながおか し りつかみどおりょうがっこう
長岡市立上通小学校

上通小学校では、よりよい人間関係を育むために、全校体制によるソーシャルスキル教育を実践しています。

6月の全校朝会で、教師によるモデリングをもとに、不意の衝突時に掛け合う言葉を考える場を設けました。すると、子どもたちからは、「大丈夫?」「ごめんなさい。」等のふわふわ言葉を使う意見がでました。次に、各学級で全校朝会のモデリングのロールプレイを行いました。1年生では、「やってみたらなんかうれしい気持ちになる。」等の声が聞かれました。また、「昼休み、ふわふわ言葉使えた?」と尋ねたところ、「『ありがとう』と言えた。」「友達に困ったとき『大丈夫』と言った。」等の満足そうな声も聞かれました。4年生では、「相手に近づく」「相手を見る」等の行動の視点をもたせながらロールプレイを行いました。「演技を見ているだけでいい

気持ちになる。」「ふわふわ言葉を使ってみたら、心が温かくなった。」等の振り返りの記述が見られました。

今後は、日常的に子どもたちがふわふわ言葉で喜び合い、満足感をもてるような学校づくりを目指していきます。



1年生「給食の配膳で衝突した場面」のロールプレイ

みんなに やくだつ 信条っ子

ながおか し りつしんじょうしょうがっこう
長岡市立信条小学校

信条小学校では、「相手の立場に立つて行動する子」の育成を目指し、日々取り組みを行っています。主な取り組みとして、異年齢集団での活動を行っています。

日常的には、「なかよし班」と呼ばれる異学年集団で、全校遊びや清掃活動を行っています。毎日、上学年の子どもたちが、下学年の子どもたちに自然に声をかけたり、教えたり、手伝ったりする姿が見られます。

また、今年は全校遠足で「大河津分水さくら公園」と「信濃川大河津資料館」に出かけました。なかよし班で励まし合いながらゴールを目指して歩きました。公園では、大きな遊具や広い敷地を使って、なかよし班ごとに楽しそうに遊んでいました。思い切り遊んで、汗をかけた後は、お家の方が作ってくださったお弁当を仲良く食べました。学年の違う友達と食べるお昼ご飯にワクワクしてしまし

た。なかよし班のメンバーと仲を深めることができた全校遠足となりました。

これらの活動を通して、相手の立場になって考え、行動したり、任された仕事を一生懸命行っ協力的な姿勢が育ってきています。



ゴールを目指しながら、班で協力してビンゴ大会に向けてのミッション達成！

心を育てる活動の紹介

ながおか し りつこし じ しょうがっこう
長岡市立越路小学校

越路小学校では、子どもたちの豊かな心を育む活動として、学年の枠を超えて子ども同士の関わりを深める異学年交流「雪ん子グループ」活動、自己肯定感を高める取組「わたしらしさの木」の活動を行っています。

5月には、地域の河川公園まで歩き、グループで遊ぶ「雪ん子プレイタイム」を行いました。6年生はリーダーとしてグループ全員が楽しめる遊びの計画を立てたり、公園まで歩く際には下学年のペースに合わせたりと、相手を思いやる温かい気持ちや役割に向き合う責任感が感じられました。他学年の子どもたちも、それぞれの学年に応じて自主的に協力し、自分にできることを積極的に行う姿が見られました。

行事や交流活動の後には、友だちのよいところを見つけて伝え合う「わたしらしさの木」の活動を行っています。子どもたちは、

一緒に活動した友だちの頑張りのやさしさ、思いやりのある行動などを見つけ、メッセージを付箋に書いて渡します。この活動を通して、友だちのよさに目を向ける力が育つだけでなく、自分の頑張りのよさを認めてもらう、よい機会となっています。友だちから温かい言葉を受け取ることで自信や達成感を得ることができ、自己肯定感の向上につながっています。



「雪ん子プレイタイム」グループで遊ぶ様子

活動を通して育む思いやりの心

ながおか し りつなか の しまちゅうがっこう
長岡市立中之島中学校

中之島中学校では、「奉仕活動や体験学習を通して、地域との交流を深めるとともに、福祉についての理解や関心を高め、思いやりの心を育てる」ことをねらいとして、福祉委員会や整備委員会を中心に地域のイベントのボランティアや花壇整備作業など、様々な活動を行っています。

整備委員会では、プランターに花を植えた花壇の除草をしたりする活動を通して環境美化に取り組んでいます。生徒たちは、綺麗な花壇を見て心地よい達成感を感じています。

毎年10月に中之島支所で行われる「中之島産業まつり」では、福祉委員会がボランティアとして活躍しています。スタンプラリーやおにぎり配布の手伝いをして、地域の方々と交流しています。生徒たちは来場者に話しかけたり自分で仕事を探して手伝ったりと、積

極的に活動に取り組む様子が見られます。

3年生は、今までにボッチャ、モルックといったパラスポーツを親子で体験してきました。友達や保護者の方と得点を取る方法を相談しながら工夫してゲームを楽しみ、どんな人でも一緒に参加することができるパラスポーツの魅力を知る、良い機会となりました。



学年行事でのモルックの様子

社会に貢献できるよう日々学んでいます

けんりつとち お こうとうがっこう
県立栃尾高等学校

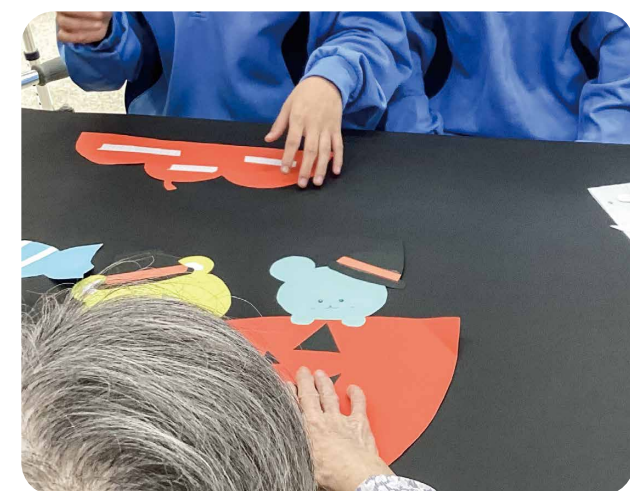
県立栃尾高等学校の福祉・家庭系列では、将来、社会に貢献できるよう、地域の様々な方と交流しながら学んでいます。

栃尾地区の高齢者に向けた配食サービスの献立を生徒が提案する「栃高弁当プロジェクト」に取り組んでいます。調理ボランティアの方の前でプレゼンし、食べやすさの工夫等について直接アドバイスをいただきました。採用された献立が「栃高弁当」として高齢者の元に届けられ、感謝のお手紙を頂くなど、うれしい交流となっています。

その他にも高齢者施設を訪問し、一緒に壁面飾りを制作しました。できあがった作品を見て、季節を感じて喜んで欲しい、また、利用者の皆様が一緒に作ることも楽しんでもらえるように、コミュニケーションを取りながら制作をしました。さらに、子どもたちに楽しんでもらえるようゲームや劇などのレクリ

エーションを考え、保育園を訪問しました。訪問先の皆さんに喜んでもらえて良かったです。

これからも地域の皆様と交流しながら相手を思いやり、支え合うことの大切さを学んでいきたいです。



高齢者施設での壁面飾り制作

福祉教育の推進にあたって



ながおか し しゃ かい ふく し きょう ぎ かい
長岡市社会福祉協議会
会長 野口 正博

日頃、長岡市社会福祉協議会の活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。当会では、「ともに生き、ともに支えあい、心のかよいあう地域社会の実現」を目指し、そのための大切な取り組みの一つとして「多世代に向けた福祉教育の推進」を掲げ、これに力を注いでまいりました。

福祉協力校事業における各学校の活動では、児童・生徒が地域の人達や友達の気持ちを思い、そして相手の立場に寄り添いながら、「自分にできることは何だろう」ということなどを考えながら行動する姿が多く見られます。こうした経験は、日々の生活の中にある“ふだんの ぐらしの しあわせ”に気づく力を育むとともに、未来の社会をつくっていく大切な一歩となると思っています。

将来を担う子ども達が、こうした取り組みを通して、これからさらに飛躍することを期待しています。

長岡市社会福祉協議会は、これからも「誰もが心豊かに暮らせる社会」を目指し、歩みを進めてまいります。